

2020年2月5日

営業店へのAI通訳機「POCKETALK®（ポケットーク）」設置について

足利銀行（頭取 松下 正直）は、外国人のお客さまとの円滑なコミュニケーションを図る補助ツールとして、ソースネクスト株式会社（代表取締役社長 松田 憲幸）が提供するAI通訳機「POCKETALK®（ポケットーク）S」を外国人の観光客や勤務者が多い地域にある3カ店に設置しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今後も多くのお客さまのご期待にお応えできるよう、質の高いサービスの提供に積極的に取り組んでまいります。

記

1. 「POCKETALK®（ポケットーク）S」について

名 称	POCKETALK®（ポケットーク）S
主な機能	<ul style="list-style-type: none">・ AI通訳機能 ボタンを押しながら話しかけるだけで、AIが即時に翻訳し、翻訳音声が発生されるため、通訳がいるかのように対話できる。・ カメラ翻訳機能 「ポケットーク」搭載のカメラで文字を撮影すると、対応言語を自動認識し、翻訳できる。 <p style="text-align: right;">[イメージ]</p> 
対応言語	74言語※ 英語、中国語のほかロシア語やポルトガル語の方言まで対応 ※55言語では音声とテキストに、19言語ではテキストに翻訳します。 詳細は、ポケットーク公式サイトに対応言語一覧をご確認ください。 (2019年11月時点)

2. 設置店舗

- ・ 日光支店（栃木県日光市）
- ・ おもちゃのまち支店（栃木県下都賀郡壬生町）
- ・ 大泉支店（群馬県邑楽郡大泉町）

3. 設置日

2020年2月5日（水）

以 上

<ご参考>

足利銀行では、店舗設備や備品の改善・拡充および役職員への研修などによる意識の醸成を通じて、ご高齢のお客さまや障がいのあるお客さま、外国人のお客さまなど、すべてのお客さまに安心してご来店いただける店づくりを目指しております。

[主な取り組み]

内 容		高齢者	障がい者	外国人
店舗設備	【本件】AI通訳機「POCKETALK (ポケットーク)」の設置			●
	「コミュニケーションボード」の設置 (耳の不自由なお客さまや外国人との間で希望されるお取引引きやお手続きについて円滑に意思疎通をはかるためのもの)		●	●
	「視覚障がい者対応ATM」の設置		●	
	「車いす用ATM」の設置	●	●	
	「点字ブロック」の敷設		●	
	「耳マーク表示板」の設置	●	●	
	「簡易筆談器」の設置	●	●	
	「助聴器」の設置 (耳にあてると音声が大きく聞こえる機器)	●	●	
	「卓上型対話支援システム (COMUOON)」の設置 (専用マイクとスピーカーにより、窓口担当者の声を明瞭にする機器)	●	●	
	「老眼鏡」の設置	●		
	「杖ホルダー」の設置	●	●	
	優先駐車場「おもいやり駐車場」の設置 (車いすをご利用のお客さまなどに優先的に駐車いただける駐車場)	●	●	
	「店舗入口までのスロープ」の設置	●	●	
	「多目的トイレ」の設置	●	●	
	「車いす」の設置	●	●	
「ほじょ犬ステッカー」の設置		●		
人材	「認知症サポーター」の配置	●		
事務サービス	「行員代筆」の取り扱い (目や手の不自由なお客さまなどで自筆困難な場合)	●	●	
	「行員代読」の取り扱い (目の不自由なお客さまの場合)		●	
	「点字文書作成サービス」の実施 (お取引明細や定期預金の満期通知等を点字で作成し通知する)		●	
	窓口での振込手数料の引き下げ (ATMのご利用が困難なお客さまに対する振込手数料を、ATMを利用した場合の手数料と同額に引き下げ)		●	

※一部の営業店に限られている取り組みも含まれます。